

長野県教員等ネットワークの活動について

長野県須坂園芸高等学校 教諭 北原三代志



「我がクラスの美女たち」



長野県教員等ネットワークができるまで

在外経験のある先生方からの意見

長野県教育委員会の課題

JICA
駒ヶ根

他の先生方はどんな授業をしているの？

他の先生方をうまく巻き込めない。
私、浮いているかも？

増加する外国籍未就学児童
への対応

語学力の面、多文化共生の
観点で在外経験のある
先生方を
大いに活用していきたい

JICAに何か使える道具はあるの？

体験をどのように還元
していいのかわからない

こういう授業をしたいん
だけど、どうしたらいい？



「長野県教員等ネットワーク」の主な活動

- 年に数回、運営委員で集まって打合せ
- 講演会、セミナー、ワークショップの企画・運営
- 「長野県教員等ネットワーク」として、各団体への講演会、イベントなどへ参加
- HPの運営
- メーリングリストでの情報共有
- 参加者の拡大
- 長野県で将来的に教員になりたいと考えているJICAボランティア経験者の育成

世界に飛び出せ信州っ子 長野県教員等ネットワーク - Windows Internet Explorer

http://kyoinnet-nagano.jica.go.jp/

世界に飛び出せ信州っ子 長野県教員等ネットワーク

jica
ジエイカ

世界に飛び出せ信州っ子

長野県教員等ネットワーク

メニュー

- 長野県教員等ネットワークについて
- 運営委員会からのご挨拶
- おしらせ・トピックス
- 国際理解教育実践報告
- 世界の教育事情

運営元: JICA駒ヶ根
〒399-4117
長野県駒ヶ根市赤穂15
電話: 0265-82-6151

世界に飛び出せ信州っ子 ホームページについて

© JICA
Copyright © 国際協力機構

“Let's Try 考えるより何かやってみよう”

青年海外協力隊を経験した先生や、日本人学校で教鞭を執っていた先生方が中心となって組織している長野県教員等ネットワークは、海外経験を活かし国際理解教育や開発教育について意見交換をし、授業で実践をしています。

撮影: 清水重行

このサイトは、これから国際理解教育の導入を計画している方や不特定多数の先生方に情報を提供し、ネットワーク内の活性化や国際理解教育、開発教育の裾野を広げるために立ち上げたサイトです。サイト内の情報の使用は自由ですので、ぜひ国際理解教育を実践してみてください。

最新のおしらせ・トピックス

2007年09月11日

- 長野県木曽山高等学校の近藤イアンさんが第7回留学生日本語弁論大会でJICA理事長賞受賞！！

2007年07月24日

- 中条小学校:西澤浩教諭「JICA駒ヶ根と連携しての国際理解教育の実践」を更新しました！

2007年07月06日

- 「教員等ネットワーク」の取り組みがJICA月刊誌に掲載されました！！

最新の事例より

【国際理解教育実践報告】長野市立治田小学校「戦争に苦しむ国との交流を通して共生の心を学ぶ国際理解教育」実践報告

長野市立治田小学校(現:長野市立城山小学校)教諭:千葉助子氏による授業実践報告「戦争に苦しむ国との交流を通して共生の心を学ぶ国際理解教育」～地域に根ざした「アフガニスタンとの交流活動上を通して～」

【報告者名を隠す】

スタート jicakjv-shiminsanka - ... 世界に飛び出せ信州っ子 JICA教員ネット中間報告...

11:26

授業(特別活動)に協力していただいた例

文化祭におけるクラス展の実践例

今年度の文化祭クラス展では「バングラデシュを着よう！食べよう！買いましょう！」と題し、バングラデシュの文化を体験しながら開発途上国について学びました。



夏休みにJICA駒ヶ根に出向き、
バングラデシュのNPOで活躍されていた
方から現地の様子を聞く生徒たち。



候補生の皆さんと昼食を共にしながら
いろいろなお話しができました。

そして文化祭・・



スリランカOGによるサリーの着付け指導
この方もネットワークに入っています。



そして・・・来場者に着せて
あげられるほど上手になりました。

食文化と伝統芸術



バングラデシュのスパイスを使ったカレーを作り、試食会を行いました。
NGOを通じてお借りした手工芸品を販売し、フェアトレードやバングラデシュの文化や伝統芸術について学びました。
売上金はもちろん現地の方に還元しました。

平成19年度第1回長野県教員等 ネットワーク総会／公開セミナー

2007年5月20日



JCA駒ヶ根と運営委員で
HPの内容について検討

参加者に教員ネットワーク
の活動について説明

模擬授業と公開セミナー



塩尻志学館高等学校 駒村先生
「伐採と植林・環境を考える」模擬授業。
これが次の授業のヒントになります

訓練中の候補生も交えて
行われました。



ネットワークの今後の課題

- ネットワークの団体としての位置づけ（先生方の財産として）
- HPの内容の改造（さらに先生方に有効な内容にしていくにはどうしたらいいのか）

これからネットワークとしてやっていきたいこと

- HPを通して、長野県内の実践を全国的に広げていきたい
←HPの充実を図ることが大切。

ネットワークが長野県内にとどまることなく、他県のネットワークと交流しながら、お互いに持っているノウハウを紹介できる場を設けていきたい。

- 参加者のデータベース化など、他の団体（長野県教育委員会・高教組・県教組・長野県（国際課））にも更にもっと活用してもらえるような得策を考える
（個人情報管理上、更なる話し合いが必要とされる部分）

ご静聴ありがとうございました

